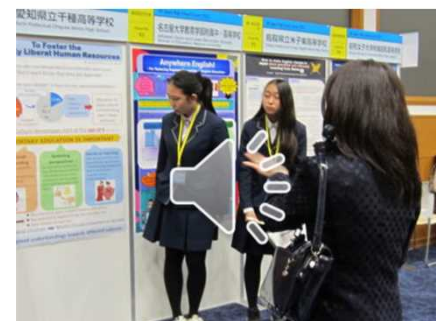


令和5年度ワールド・ワイド・ラーニングコンソーシアム構築支援事業  
次世代型イノベティブ・グローバルリーダーの育成  
- 「愛知の力」を原動力に -



「自主自律」の花ひらく学舎

愛知県立千種高等学校

CHIGUSA HIGH SCHOOL



愛知県

Aichi Prefectural Government

## 目次

- 構想の概要
- 事業拠点校：愛知県立千種高等学校
- 教育課程
- ネットワーク
- 研究開発・実践
- 現状と課題



「自主自律」の花ひらく学舎

愛知県立千種高等学校

CHIGUSA HIGH SCHOOL



愛知県

Aichi Prefectural Government

# 構想の概要

愛知県教育委員会は、「経済・環境・人権」が調和する三立社会において新たな価値を創造することのできる「次世代型イノベティブ・グローバルリーダー」の育成を目標としている。

リーダーに必要な資質・能力を「受容力・創造力・実行力」とし、グローバルな社会課題であるSDGsの目標達成への貢献を通して、探究的な学びを進める。

自主自律を教育目標に掲げる愛知県立千種高等学校を事業拠点校とし、SDGsについて先進的な取組を進める愛知の企業、大学及び特色ある教育活動に取り組んでいる県立高校と連携し「あいちAL（アドバンスト・ラーニング）ネットワーク（以下「あいちALN」という。）」を形成することで、新しい時代に相応しい教育環境の整備を進め、魅力ある高等学校教育づくりを推進する。

さらに、国内外にあいちALNを広げ、他者との協働によって、生徒の資質・能力のさらなる伸長と愛知の教育力の向上を目指す。そして、グローバル社会に貢献できる人材を輩出し、SDGsの目標達成の原動力にする。



「自主自律」の花ひらく学舎

愛知県立千種高等学校

CHIGUSA HIGH SCHOOL



愛知県

Aichi Prefectural Government

愛知県立千種高等学校

設立：1963年

学科：各学年 普通科 7クラス 国際教養科 2クラス

生徒人数：1081名 男子429名 女子652名

(令和6年2月1日現在)

スクールミッション：

○国際的な視野、自主自律の精神、幅広い教養を備え、  
積極性と実践力に富んだ生徒の 育成を目指す学校

○豊かな情操を備え、責任感に富み、グローバル・リ  
ーダーとして社会の発展に寄与し ようとする生徒の育  
成を目指す学校



「自主自律」の花ひらく学舎

愛知県立千種高等学校

CHIGUSA HIGH SCHOOL



## スクールポリシー：

### 1 目指す生徒像（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○知的好奇心が旺盛で、幅広く学ぶ意欲を持ち、自ら学びを深めていくことができる人

○国際的な視野を持ち、多様な考えを認め、他者を理解しようとする協調性がある人

○自主的・自律的に行動し、創造性と積極性を発揮することができる人

### 2 本校における学び（教育課程の編成および実施に関する方針）

○生徒一人ひとりの知的好奇心を大切にしたい幅広い学びの実現

○生徒同士が学び合う対話的な学びの機会の充実

○探究的で教科横断的な学びの重視

### 3 入学を期待する生徒像（入学者の受入れに関する方針）

○あらゆることに興味を持ち、幅広く学びたいと考えている人

○他者との関わりを大切に、互いの個性を認め協力して物事に取り組みることができる人

○目的意識を持ち、学習活動・生徒会活動・部活動に主体的に取り組むことができる人





# 教育課程

## 文理バランスよく学ぶ教育課程

- 普通科においては文理の類型選択を3年次から行っており、2年次までは全員が同じカリキュラムで学んでいる。
- 国際教養科では選択科目が設定され、生徒は自らの興味・関心に合った科目選択を行うことで文系、理系を問わず各教科をバランスよく学ぶことが可能。
- 生徒一人一人の興味・関心の違いから生じる様々な視点を活かして社会の問題や課題を多面的・多角的に捉えることや、文理の壁を越えて探究活動を実施することを目指している。
- 国際教養科においては令和3年度から学校設定科目「グローバル探究」を通して教科横断的な学習活動を進めている。
- 社会課題やキャリア形成における自己の在り方に関連するテーマを設定し、1年次に実施される野外活動や2年次に実施される全日LT（校外の貸し会議室を利用し、クラス全体で議論の場を設ける行事）において、クラスやクラスを横断してグループを構成し議論・討論を実施している。これらの活動においては、教科で学んだ内容を基盤として事前調査、生徒によるテーマ設定、議論・討論、探究活動、発表が行われている。
- 教育課程外の取組としてフィールドワークを含めた探究活動を令和4年度から実施している。  
探究活動においては、4月より毎週火曜日の授業後の時間を利用して教員とともに文献調査やデータ分析作業、発表資料作成、発表会、グループでの議論を行った。  
生徒が決めた探究テーマを中心に据え、生徒の主体性が発揮できる環境作りを教員がサポートする方針を立てた。





愛知県

Aichi Prefectural Government

教科	科目	標準 単位数	1年	2年	3年		計	備考	
					A類型	B類型			
国語	現代の国語	2	2				2		
	言語文化	2	2				2		
	論理国語	4		1		2	1	2・3	
	文学国語	4		1		1	1	2	
	国語表現	4							
	古典探究	4		2		4	2	4・6	
地理歴史	地理総合	2	2				2	*A類型は、3年次に「地理探究」「日本史探究」「世界史探究」から1科目選択する。 *B類型は、3年次に「地理探究」「日本史探究」「世界史探究」「倫理」のいずれかを選択する。	
	地理探究	3				5	0・3・5		
	歴史総合	2	2				2		
	日本史探究	3					3		0・3・5
	世界史探究	3					0・3・5		
公民	公共	2	2				2		
	倫理	2				2		2・3	
	政治・経済	2		2			2		
数 学	数学Ⅰ	3	2				2	*学校設定科目「文系数学α」「文系数学β」「理系数学」を3年次に設置する。 *1年次に「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」の期間履修を行う。 *A類型は、3年次にアー3「文系数学β」「文系英語」から1科目選択する。	
	数学Ⅱ	4	1	2			3		
	数学Ⅲ	3					4		0・4
	数学A	2	2				2		
	数学B	2		2			2		
	数学C	2		2			2		
	文系数学α	3				3			0・3
	文系数学β	3				ア3			0・3
理系数学	3					3	0・3		
理 科	物理基礎	2		3			3	*学校設定科目「文系理科」を3年次に設置する。 *B類型は、3年次に「物理」「生物」から1科目選択する。	
	物理	4					4		0・4
	化学基礎	2		3			3		
	化学	4					4		0・4
	生物基礎	2	3				3		
	生物	4							0・4
文系理科	2					2	0・2		
保健体育	体育	7~8	2	3		3	3	8	
	保健	2	1	1			2		
芸 術	音楽Ⅰ	2						0・2	*1年次に、「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」から1科目選択する。
	音楽Ⅱ	2							
	美術Ⅰ	2		2				0・2	
	美術Ⅱ	2							
	書道Ⅰ	2						0・2	
	書道Ⅱ	2							
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3				3	*学校設定科目「文系英語」を3年次に設置する。 *A類型は、3年次にアー3「文系数学β」「文系英語」から1科目選択する。	
	英語コミュニケーションⅡ	4		3			3		
	英語コミュニケーションⅢ	4				3	3		3
	論理・表現Ⅰ	2	2						2
	論理・表現Ⅱ	2		3					3
論理・表現Ⅲ	2				2	2	2		
	文系英語	3				ア3		0・3	
家庭	家庭基礎	2	2				2		
情報	情報Ⅰ	2	2				2		
総合的な探究の時間		3~6	1	1		1	1	3	
L T			1	1		1	1	3	
計			32	32		32	32	96	

各学科に共通する各教科・科目

● 普通科



「自主自律」の花ひらく学舎

愛知県立千種高等学校

CHIGUSA HIGH SCHOOL



愛知県

Aichi Prefectural Government

# 国際教養科

教科	科目	標準 単位数	1年	2年		3年				計	備考		
				A 類型	B 類型	A類型 選択						B類型 必修	
						イ-3	ウ-3	エ-2	オ-2				
国語	現代の国語	2	2							2	*A類型は、3年次にウ-3で「国語表現」「文系数学β」「時事英語」から1科目選択する。		
	言語文化	2	2							2			
	論理国語	4		1	1	1				1		2	
	文学国語	4		1	1	1				1		2	
	国語表現	4						3				0・3	
	古典探究	4		2	2	2						2	4
地理歴史	地理総合	2		2	2						2	*「地理総合」「歴史総合」を専門科目とみなす。 *A類型は、3年次に「日本史探究」「世界史探究」から1科目選択する。 *A類型は、3年次にオ-2「倫理」「英語理解」から1科目選択する。	
	地理探究	3								2	0・2		
	歴史総合	2		2	2						2		2
	日本史探究	3					4				0・4		
公民	世界史探究	3									0・4	*A類型は、3年次にオ-2「倫理」「英語理解」から1科目選択する。	
	公共	2	2								2		
各学科に共通する各教科・科目	倫理	2								2	0・2	*学校設定科目「文系数学α」「文系数学β」「理系数学」を3年次に設置する。 *1年次に「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」の期間履修を行う。 *A類型は、2年次にア-2で「数学C」「RapidReading」から1科目選択する。 *A類型は、3年次にウ-3で「国語表現」「文系数学β」「時事英語」から1科目選択する。 *A類型は、3年次にエ-2で「文系数学α」「実用英語」から1科目選択する。	
	政治・経済	2									0・2		
	数学Ⅰ	3	2								2		
	数学Ⅱ	4	1	2	2						3		
	数学Ⅲ	3								4	0・4		
	数学A	2	2								2		
	数学B	2		2	2						2		
	数学C	2		ア	2	2					0・2		
	文系数学α	3								2	0・2		
	文系数学β	3							3		0・3		
理科	理系数学	3									2	0・2	*学校設定科目「文系理科」を3年次に設置する。 *A類型は、3年次にイ-3「文系理科」「PublicSpeaking」から1科目選択する。 *B類型は、3年次に「物理」「生物」から1科目選択する。
	物理基礎	2		2	2						2		
	物理	4									5	0・5	
	化学基礎	2		2	2						2		
	化学	4								4	0・4		
	生物基礎	2	2								2		
保健体育	生物	4									0・5	*1年次に「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」から1科目選択する。	
	文系理科	2					3				0・3		
芸術	体育	7~8	2	3	3	3					3	8	
	保健	2	1	1	1							2	
	音楽Ⅰ	2										0・2	
	音楽Ⅱ	2										0・2	
外国語	美術Ⅰ	2										0・2	*「総合英語Ⅰ」で代替する。
	美術Ⅱ	2										0・2	
主として専門学科において開設される各教科・科目	書道Ⅰ	2										0・2	*学校設定教科「国際教養」を設置し、所属する科目はすべて学校設定科目とする。 *1年次に、「日本語理解」「SpokenEnglish」から1科目選択する。 *A類型は、2年次にア-2で「数学C」「RapidReading」から1科目選択する。 *A類型は、3年次にイ-3で「文系理科」「PublicSpeaking」から1科目選択する。 *A類型は、3年次にウ-3で「国語表現」「文系数学β」「時事英語」から1科目選択する。 *A類型は、3年次にエ-2「文系数学α」「実用英語」から1科目選択する。 *A類型は、3年次にオ-2「倫理」「英語理解」から1科目選択する。 *2年次の第二外国語は「フランス語」「スペイン語」「ドイツ語」「イタリア語」「中国語」「韓国・朝鮮語」のいずれかを選択する。
	書道Ⅱ	2										0・2	
	英語コミュニケーションⅠ	3										3	
	家庭基礎	2	2									2	
	情報	2	2									2	
	総合英語Ⅰ	3~6	2									2	
	総合英語Ⅱ	4~8		2	2							2	
	総合英語Ⅲ	4~8					3				2	2・3	
	ディベートディスカッションⅠ	2~6		2	2							2	
	ディベートディスカッションⅡ	3~8										3~8	
グローバル探究	2~6	2	2	2	2	2				2	6		
異文化理解	2~6	2									2		
日本語理解	2	2									0・2		
Spoken English	2~8										0・2		
地域研究	2					2				2	2		
Rapid Reading	2~4		ア	2							0・2		
Public Speaking	2~8							3			0・3		
第二外国語	2~6		2	2							2		
時事英語	2~6							3			0・3		
実用英語	2~6								2		0・2		
英語理解	2~6									2	0・2		
総合的な探究の時間	3~6	1	1	1	1	1					1	3	
IT			1	1	1	1						1	3
共通科目計	55~68	22	22	22	13	0・3	0・3	0・2	0・2	2	24	55~68	※専門科目は、25単位を下らない
専門科目計	22~35	8	8	8	7	0・3	0・3	0・2	0・2	2	6	22~35	
計		32	32	32	22	3	3	2	2	2	32	96	



「自主自律」の花ひらく学舎  
**愛知県立千種高等学校**  
 CHIGUSA HIGH SCHOOL





愛知県

Aichi Prefectural Government

# ネットワーク

## ○事業連携校（高校）

愛知県立旭丘高等学校・愛知県立明和高等学校・愛知県立中村高等学校  
愛知県立愛知総合工科高等学校・愛知県立愛知商業高等学校

## ○海外協力校（高校）

韓国 Hyoyang Highschool（韓国） Pungsaeng Highschool（韓国）

## ○大学

愛知県立大学・名古屋市立大学・名古屋外国語大学・名古屋大学

## ○企業

中部経済同友会



「自主自律」の花ひらく学舎

愛知県立千種高等学校

CHIGUSA HIGH SCHOOL



# 研究開発・実践

テーマ：SDG s の達成を目指した探究活動

○初年度「知る・出会う」

生徒が様々な活動する中で問題の所在に気付き、探究活動を進めていく過程で、社会の問題が生徒自らの問いへとつながっていくことを目指した。

○今年度「深める」

一人一人が出会った問いを批判的に検討しつつ、問題の背景から問題存立の原因に迫ることを目指して活動した。調査・研究の方法としては、文献調査の他、インタビュー、社会アンケートの実施など生徒の実態に応じて実施した。

○来年度「つなげる」

これまでの取組を継続しつつ、テーマ「つなげる」のもとに、様々な対象や人をつなげることを目標とする。高校生国際会議や校内における研究成果の発表と情報発信を行うとともに参加対象者を広げ、事業拠点校を情報発信の場として位置づける予定である。





愛知県

Aichi Prefectural Government

# 研究開発・実践

カリキュラム研究開発における他機関との協働 および 高度化、自律化について

- 愛知県立千種高等学校と名古屋市立大学間で科目等履修生の受入に関する協定を締結。（令和4年度）  
今年度は2名の生徒が科目等履修生として、講義「心理学入門」を名古屋市立大学の学生とともに受講。  
名古屋市立大学の単位として認定される。  
名古屋大学及び愛知県立大学との連携も、来年度の実施に向けた交渉が行えるように引き続き調整。
- 複数の大学の協力により愛知県教育委員会が毎年実施している「知の探究講座」  
愛知県立大学において心理学講座を受講した生徒1名の単位が事業拠点校の単位として認定（令和4年度）  
愛知県立大学においてプログラミングを学び、プログラミング言語Pythonを用いて英単語の学習アプリケーションの開発を行った生徒と名古屋工業大学において植物の色素アントシアニンを利用して指示薬を開発した生徒2名が、事業拠点校の単位として単位認定される予定。（令和5年度）
- 昨年度より1名の生徒が、名古屋大学大学院理学研究科の大学院生と共同研究を行っている。  
生物物理学会において「深層学習を用いたタンパク質の立体構造と機能予測」として11月に口頭発表を行った。



「自主自律」の花ひらく学舎

愛知県立千種高等学校

CHIGUSA HIGH SCHOOL



愛知県

Aichi Prefectural Government

# 研究開発・実践

海外協力機関の生徒・国内大学への外国人留学生との交流事業および「グローバル探究」等の教科・科目を設定した状況

- 学校設定科目「グローバル探究Ⅰ」を国際教養科1年生対象に、「グローバル探究Ⅱ」を国際教養科2年生対象に、「グローバル探究Ⅲ」を国際教養科3年生対象にそれぞれ授業内で実施した。SDGsをテーマとし、外部講師による講演を年に4回実施した。また、「グローバル探究Ⅱ」では、夏季休業中の課題としてフィールドワークに行くこととした。
- 「グローバル探究Ⅰ」では、日本や世界の様々な問題について理解を深めると同時に、各自が設定したテーマに従って調査を行い、調査したことの発表及び問題解決につながる提案を行った。探究学習では3～4人が1グループとなり、スライドを使用した発表を行った。
- 「グローバル探究Ⅱ」については、基本的な探究学習の流れは「グローバル探究Ⅰ」と同じであるが、フィールドワークや調査を通じ、より現実的かつ効果的な解決策の提案を行った。
- 「グローバル探究Ⅲ」では、日本や世界の様々な問題について理解を深めるだけでなく、「グローバル探究Ⅰ・Ⅱ」で得た知識や各自の探究活動での学びを自分たちの将来像に結び付けることを目標に、英語で論文を作成した。日本人教諭による「グローバル探究」では、生徒の発表による質疑応答ができてはいたが、生徒からの質問だけでは深まりに欠けていた。
- また、特別非常勤講師の英語担当者は、英語を使用して学習内容が深まるように指導・助言を行った。具体的には、各グループによるスライドを使用した英語でのクラス発表等において、グループ発表後に他のグループからの積極的な質問を促し、意見交換が深まるように質問のポイントや多角的な見方などの助言を英語で行った。

「自主自律」の花ひらく学舎



愛知県立千種高等学校

CHIGUSA HIGH SCHOOL

### 家庭でのフードロス削減について考える

現在、起きているフードロスのうち約45%が家庭からの廃棄物である。しかし家庭での取組は見えにくく、各家庭でのフードロス対策は明確ではない。そのため家庭におけるフードロスの現状・要因を特定し明らかにすることによって効果的な対策を見つけ出す必要がある。文献調査・フィールドワーク・実験・観察に基づいて家庭における食品の保管・処理について具体的な対策を提案することを目標とした。フィールドワークとしては、フードドライブ活動を通して家庭における食品の保管状況を知ることができないかという観点から、フードバンク愛知に7月下旬に訪問した。

### マイクロプラスチックの海への放出について

OECDによると2050年には海洋におけるプラスチックゴミの総重量が海洋に生息する生物の総重量を超えると予想されている。日本においては、愛知県を含む太平洋側の海洋ゴミの大半は国内から流れ着いているゴミである。そのうち約半数は家庭から出るゴミが占めている。家庭から排出されるゴミが海に流れそのままになっている現状について海岸に出向き調査を行うとともに有志による清掃活動を実施した。また今後は、この活動を多くの人に意識してもらえるように拡げることで生活ゴミを減らすことを考えている。フィールドワークとしては、まず海洋に放出されているプラスチックゴミの実態を知るためにメタウォーター下水道科学館なごやへ訪問するとともに藤前干潟において実際に漂着しているゴミを調査した。（7月下旬）

### 多様性を認める社会を創るには

社会で暮らす人々が、自分とは異なる多様な他者を心理的に受入れることは、近年変わりつつある。しかし、「性的多様性」に焦点を当てると、まだ困っている人が多いことが分かる。普段の生活の中で「男女の差」がなくなりつつある一方で「LGBTQ+」と聞くと「知らない」、「抵抗がある」、「どう対応したらいいか分からない」などその多様性を認める状況には至っていない。「性的多様性」について多くの人を受入れ、またその違いを認め合える社会を創るにはどうすればよいか、社会における実際の取組も調査し考察した。ジェンダー平等への取組を企業として推進している大橋運輸株式会社へ訪問した。（7月下旬）

### 人類とAIの共存社会を考える

最近では、AIが急速に発達している。例えばテキストによる曖昧な指示をもとに、イメージに沿った画像や音楽などを新たに生成するAIが登場している。これらのAIによって、人の作業効率は劇的に改善することが見込まれる一方で、人の職業を奪う可能性や、学習の元となるデータの著作権を侵害する可能性があることなど様々な懸念もある。このような状況において、人はAIとの付き合い方を考える必要がある。AIに向き合うために私たちが知っていなければいけないこととは何であるのか考察した。フィールドワークとしてPre-Station Aiに訪問した。（7月下旬）

### 生態系と生物多様性を考える

身近な環境において生物の生態環境はどのようになっているのか一般には知られていない。例えば河川を例にとると本来、生態系が持つ自然の浄化作用により一定程度きれいに保たれると考えられるが、都市部においては河川の浄化を定期的に行わざるを得ない状況がある。生態系が持つ自然の浄化作用に頼らずに人工的に河川を浄化するためのコストは非常に大きく、生態系が適切に保持されることは経済的な観点からも合理的であると考えられる。そこで生態系が適正に維持されていることの指標として河川の汚れ具合に着目し、名古屋市内を流れる庄内川と植田川における水中の溶存窒素量を調べた。そして溶存窒素量の分布から河川の水質悪化の原因を推測した。河川に生息する生物種から大まかな生息環境を知るためにフィールドワークとしてなごや生物多様性センターへ訪問した。（7月下旬）

### よりよい地域社会の実現を目指す

厚生労働省によると1990年以降一世帯あたりの人数は減り続けており、それに伴い単身世帯の数は増加している。2040年頃には日本における全世帯の約半数が単身世帯になるとも推測されている。このような状況において、人々が「孤独」になることにより引き起こされる問題とは何か、また「孤独」を社会の問題として受け止め、お互い助け合う社会の実現のために必要な「つながり」とは何かについて考えた。フィールドワークとして、名古屋社会福祉協議会、セカンドハーベストに訪問した。（8月上旬）

### 東京研修

SDGs活動に積極的に取り組んでいる企業への訪問を通して実社会におけるSDGsに関する企業の問題意識と企業活動を推進しながら行う事が可能な取組について知ることを目標とした。企業を見学し説明を受けることだけではなく、JICA広場やSmall World Tokyoや日本科学未来館に訪問し見学・説明・ワークショップを行った。（8月上旬）



# 現状と課題

## ○WWL事業の学校全体への波及

SDGsをテーマとした国際教養科の取組を全校的なものとするを目的としてSDGsウィークを年2回（6月と11月）設定している。  
国際教養科が中心となり普通科の文化委員も加わり、SDGsをテーマとした取組を校内へ広げようとしている。

## ○生徒会の委員会活動を通じた波及活動

1・2年生の各クラスにおける文化委員によるペットボトルキャップ回収を通じた途上国でのワクチン接種推進活動への貢献。  
生徒及び教職員の意識改革につながっている。

## ○授業

教科の知識を横断的につなげることを意識した授業の実施

例：「古典探究」の授業において原文と英訳の「源氏物語」を比較し、両者の共通点・相違点から見えてくることについて話し合う。

## ○生徒の変化

探究的な活動の機会への参加者の増加傾向がみられる

例1：物理生物学会において名古屋大学の教員の指導のもと名古屋大学の大学院生と他県の高校生と共同で研究した成果を発表した。

例2：海岸のゴミ拾い活動を自ら企画し、他校生徒へも呼びかけ、複数回実施している。（生徒が先導し継続的な取組となりつつある）

## ○教員・生徒の関係の変化

探究活動に対する認識の変化 予定通りには進まない わからないことに会うことが深める契機になる 先が見えない状況を楽しめるか





# 愛知県

Aichi Prefectural Government



「自主自律」の花ひらく学舎

## 愛知県立千種高等学校

CHIGUSA HIGH SCHOOL

ありがとうございました